

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： マイクロシステム融合研究開発拠点

代表者名： 井上 明久

所属機関名： 東北大学

コメント

微細加工技術の確立のために東北大学の持つポテンシャルを集結したもので、これからのものづくりのイノベーションとして優れた提案と考える。MEMS パークコンソーシアムの構想のもと、強みとするMEMSの周辺に広い分野の教員が集結し、さらに組織化された活動が計画され、特異的な応用を意図する企業の連携を得て研究体制が構築されていることは評価に値する。制限付採択の段階を経て、協働体制が強化された。OJTによる人材育成など、企業のコミットは明確である。協働機関数は多いが、協働機関をコア企業とメンバー企業に分け、コミットメントの大きさと種類を整理したことは特色がある。歴史的にも東北大学を中心とした企業との共同研究は大きな実績があり、構想の実現性は高い。集積マイクロシステムを中核とするこの提案は、数あるIT関連プロジェクトの中ではよく練られた構想と高く評価される。

MEMSと近隣技術であるLSI技術の融合という視点は、やはり類似技術の深化と見なされる。提案された研究構想ではイノベーションに結びつく融合分野の発掘までには至っていない。基盤的な研究の実施、人材育成から、イノベーションの実現へとつながる、統合的な活動を行う場としての拠点を構築することが重要である。このような拠点構想に関するビジョンの形成と、目標に至るロードマップ作成、拠点における人材育成についての取り組みの明確化を早期に実施されたい。各参画者の役割と責任をより明確にし、分野融合のため活用される資金配賦に努めていただきたい。